

令和3年度

活動報告書

美作市地域おこし協力隊

上伊倉 紀美



私のMission

勝田地域の観光振興

勝田観光振興会事務局（ ）内は主な実績

- 会計・計理事務（予算編成・執行）
- イベント企画・実施（勝田ひまわり市場）
- 観光拠点開発整備（ハーブガーデン整備・ハーブコーディネーター資格取得）

地域の魅力発見・発信

- 見過ごされ、不用と思われるモノの活用（ススキ・背高泡立ち草・熊笹などの活用）

イベントの企画・実施①

事業内容	実施時期	備考
桜まつり会場整備（提灯設置）	令和3年3月10日	4月の祭りは中止
あまご釣り大会	令和3年4月18日	共催
袴が仙登山（案内看板制作設置）	令和3年6月-7月	主催、設置登山は7月18日
農業体験（エゴマの植え付け）	令和3年6月13日	摘芯7月31日
第3回木地師まつり	令和3年11月7日	観光振興協議会への協賛
さをり織り展	令和3年11月14日-	協賛
農業体験（交流会）	令和3年11月19日	主催

イベントの企画・実施②

事業内容	実施時期	備考
イルミネーション設置	令和3年12月-1月	主催事業
勝田ひまわり市場	令和3年12月5日	主催事業
懇談会（トップが語る）	令和3年12月14日	主催事業
勝田観光振興会ゴルフ大会	令和3年12月20日	主催事業
（以下、定期的事業）		
ワンコイン・カフェの参加	10月22日、11月25日	梶並社協・勝田社協 協賛
観光振興会定例理事会	毎月第2火曜日	月例会

勝田ひまわり市場

この事業は、昨年度（令和2年度）に企画したもので、コロナの影響等で開催を見送った事業です。

開催手順

- 1 勝田地域の主要な団体への呼びかけ 10月初旬
（勝田総合支所、勝田自治振興協議会、みまさか商工会、JA晴れの国岡山、勝田中学校、市立ひまわり幼稚園、勝田郵便局、勝田観光振興会）
- 2 運営のための会議の開催：10月12日（観光振興会定例会において開催の決定）
運営会議＝10月18日、25日、11月1日、15日、22日、29日 6回
- 3 LINEを利用し出店者を募集（令和3年10月26日から11月26日）参加30団体（個人）
- 4 パフォーマー・会場手配並びに会議資料・広告リーフ・会場配布リーフ・アンケートの作成

勝田ひまわり市場 実績

広告リーフ

勝田ひまわり市場 アンケート用紙

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> ?
年齢	<input type="checkbox"/> 10代以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代 <input type="checkbox"/> 90代以上
住所地	<input type="checkbox"/> 美作市勝田地域 <input type="checkbox"/> 美作市その他 <input type="checkbox"/> 他市町村
お仕事	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 農業・林業 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他
来客・出店者の別	<input type="checkbox"/> 来客 <input type="checkbox"/> 出店者
何で知りましたか	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 音声放送 <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 人から聞いた <input type="checkbox"/> みまチャンネル <input type="checkbox"/> その他
楽しめましたか	<input type="checkbox"/> 楽しんだ <input type="checkbox"/> まあ楽しんだ <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり楽しめなかった <input type="checkbox"/> 楽しめなかった
改善点は何か （複数回答可）	<input type="checkbox"/> 早い告知 <input type="checkbox"/> 出店者の増 <input type="checkbox"/> 出店制限をしない <input type="checkbox"/> 飲食店が少ない <input type="checkbox"/> アルコールを出さない <input type="checkbox"/> イベントが少ない <input type="checkbox"/> その他
次回も参加しますか	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 改善したら参加する <input type="checkbox"/> 参加したくない
自由意見 （自由な意見をお聞かせください）	

アンケートの概要

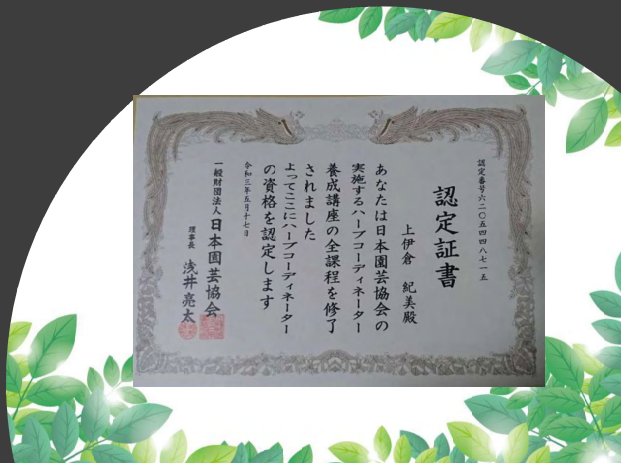
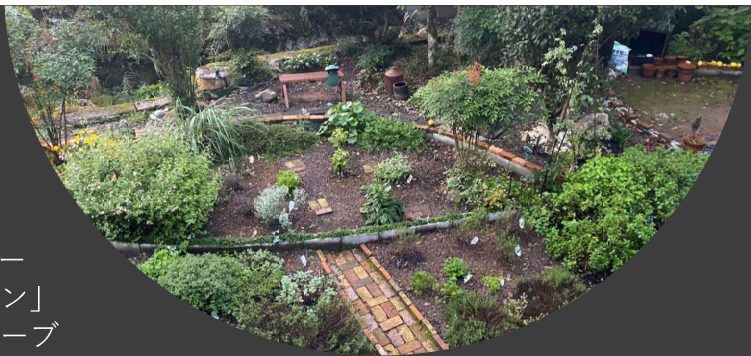
- ・来場者；450人
 - ・回答者；48人
- Q2.楽しめましたか？
楽しんだ、まあ楽しんだ=45人（83.7%）
普通=1人（2.1%）
楽しめなかった、あまり楽しめなかった
=1人（2.1%）不明=1人（2.1%）
- Q4.次回も参加しますか？
参加する=46人（95.8%）
改善したら参加する=1人（2.1%）
不明=1人（2.1%）

募集用LINE
QRコード ▶



観光拠点開発整備

- ハーブガーデン整備 = 東谷下にギャラリー
山村茶屋の庭を「ハーブガーデン」
として整備し、約30種40株のハーブ
を育成している。
⇒ **オープンガーデンとして地域に開放
していく。**
- ハーブコーディネーター資格取得 = 令和3年
5月に資格取得し、ハーブの活用方
法等について学ぶ。
⇒ **ハーブ活用を普及し、生活に取り入
れるための指導をしていく、**



見過ごされ、不用と 思われているモノの 活用

- ススキの活用 = 黒竹の柄をつけて箒にする。
ワークショップの開催 (令和3年5月4日)
- 背高泡立ち草 = 利尿・抗菌効果を利用して、入浴
剤・抗菌スプレー、ケーキ・お茶の試作
- 熊笹 = 熊笹の解毒咳止め、抗菌効果を利用して、
熊笹茶の試作



今後の展開のために

- ハーブガーデンの活用

⇒Herb-bar（ハーブを活用したバル）の開設

- ハーブに関する知識の活用

- 試作品（ススキ簾、入浴剤、抗菌スプレー）の製品化

⇒彩菜茶屋でのモニター販売

- 地域特産品（そば粉、蒟蒻の活用）

⇒そば粉パン、コンニャクチップス、
クレンソウウダー、ドライハーブ・・・の開発

美作市地域おこし協力隊二年生

令和三年度事業報告書

右手地区担当 右手養魚センター勤務

宇都宮 健二

・右手養魚センターでの活動

四月

右手養魚センターにてアマゴ釣り大会を開催しました。

大勢の参加者で賑わい盛況で終わることができましたが、コロナ禍ということもあり翌年度の参加者が増加する手法を考えるとともに大会運営がスムーズに行えるよう職員会議を開きました。

五月

初の繁忙期ということもあり、釣り用アマゴ・ニジマスの生産量が過不足なく乗り切

れるか不安ではありましたが大勢のお客様に楽しんでいただくことができました。

しかし、受付待ちのお客様が発生したことで繁忙期特有の対応が必要だと痛感しました。

六月

夏休みに向けてアマゴ・ニジマスの生産計画を立てました。

養魚池数の都合で生育と生産量のバランスを取るためサイズ選別の頻度を高めて対応しました。

七月

アマゴに病気が発生し治療対応を経験しました。蔓延すると全滅の可能性があり早期発見と初期対応の重要性を学びました。

八月

夏休みの繁忙期は魚が足りなくなる程の来客数でしたが、お盆からの長雨により事なきを得ました。

出荷数と生育状況のデータを参照し来年度の生産計画の立て方を見直す機会となりました。

九月

昨年、採卵用に選別した親アマゴを再選別したところ雄雌比率が7対3と雌の比率が少なく翌年分の選別作業に大きな課題を残しました。

二年目で性成熟する雌の発生率が向上する実験は現在のところ成果を実感していますので雄雌の特徴を見分ける精度を高めなければなりません。

十月

アマゴ・ニジマス・イワナの採卵作業を実施しま

した。

人工孵化の過程で孵化率が悪いと経営悪化に直結しますが例年と同水準の孵化率を得ることができました。

十一月

現在使用している飼料メーカー以外の会社の見積もりを取り生産コストを見直しました。

生育や食味に影響が出ないことを最優先とし、成分等を考慮したうえで飼料を決定したいと思っています。

十二月

勝田ひまわり市場に出店しアマゴの塩焼きを販売しました。

販売が好調でしたので他イベントでの出店も考えて計画しています。

一月

閑散期となる時期で、大雪も降りましたがルアー釣りの一見のお客様が増加傾向にあるため中型ニジマス・ルアー釣り・ビギナーをキーワードとした釣りを提案する必要性を感じました。

二月

旅館や飲食店への販売が低迷しており新たな販路の開拓や加工品の開発を提案し社内で会議を開きました。

三月

昨年の反省を生かしてアマゴ釣り大会の準備や繁忙期対応の改善を行なっています。

・地域での活動として

右手地区青年部に加入し空き缶回収やとんどに参加しました。

今後は中山間や消防団への加入を予定しております。

- ・耕作放棄地での農産物の生産

耕作放棄地状態だった右手養魚センター所有の圃場にて長芋や自然薯の生産を始めました。

手作業での植え付けは雑草の根に手を焼き支柱立てやネット張りができないまま秋の収穫となりました。

ネットを張れませんでしたので小振りの芋しかできませんでしたでしたが、昨年トラクターを購入したことで効率化を図りたいと考えております。

また、釣り場で伐採した桜や紅葉を活用し茸の栽培もはじめました。

・令和四年度の活動予定

- ① 右手養魚センターの経営の継承
- ② パンフレットの配布やSNSを活用しての釣り客の集客増加
- ③ 釣り教室等の開催でビギナー層の集客増加
- ④ イベント出店での販売
- ⑤ 周辺施設との連携で地域全体の集客に繋げる
- ⑥ 地域行事への積極的参加
- ⑦ 山間地域で生産した農産物の販売
- ⑧ 釣り場整備や除雪に必要なユンボ、大型特殊免許の取得

を、予定しております。

以上が令和三年度の活動報告と令和四年度の活動予定となります。

最後までご高覧いただきありがとうございました。

令和三年度
地域おこし協力隊

事業報告書

米山 吉将

メイン活動 「東粟倉 ZINE」の製作

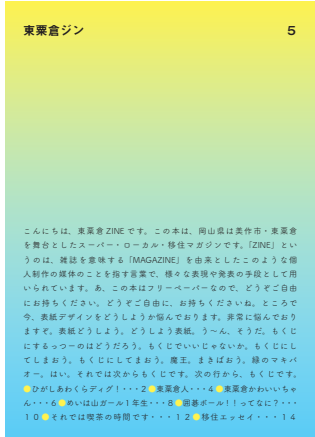
昨年度に引き続き、東粟倉地域や美作市内のあらゆるジャンルにスポットライトを当て取材した冊子を製作し配布しました。(ペンネーム使用)



東粟倉 ZINE 3号
東粟倉の誤字特集(100部)



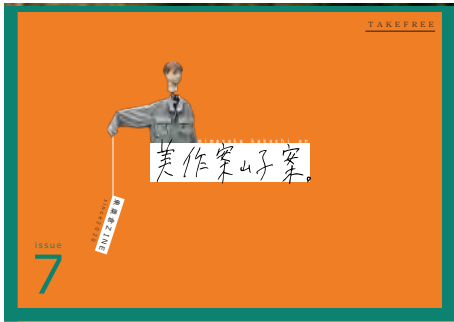
東粟倉 ZINE 4号
東粟倉のバスタヴ特集(300部)



東粟倉 ZINE 5号
東粟倉の住人特集(200部)



東粟倉 ZINE 6号(200部)
東粟倉の紫色の服を来ている女性特集



東粟倉 ZINE 7号
美作市内の案山子特集(300部)

- 配布先・・・美作市内図書館(美作、作東、勝田、英田、東粟倉図書館)各5~10部
 近隣市町村図書館(西粟倉、奈義、智頭、佐用、赤磐、和氣、宍粟、河原、真庭、御津、倉敷、久米南図書館など)各5~20部
 交流のある他地域協力隊やその拠点、飲食店やショップなど
 SNSなどで配布依頼を受け、郵送配布
 ZINE イベントをはじめ、本やチラシなどの印刷物、個人製作物のイベントへの参加・配布

地域としての目的・・・他地域に東粟倉という場所を知ってもらい、田舎暮らしや生活の違いを感じてもらい、「ZINE」というカルチャー・メディアの普及

個人としての目的・・・文章、写真、イラスト、レイアウト、デザイン、紙の種類、印刷方法、製本などを一人で完結することで、どのようにして本(冊子)が作られ出来上がっているかという仕組みを学ぶ。

その他の活動

★コラージュアートワークショップ

英田地区「ヨリビト」さんにて、自身が着色した模様紙をちぎって貼り付けするワークショップを開催しました。参加者20名。希望者多数で応募を打ち切ったので、機会があればまたやりたいです。



トレーシングペーパーに着色した模様紙。
絵具などの画材を用いA4サイズ200枚程度作成。



ワークショップ参加者の作品。



★ ZINE についての講演

吉備中央少年自然の家にて、高校生を対象とした地域おこしについての講演会で ZINE について話をしました。



講演用の資料も ZINE として製作。



人前で話すのは緊張したのだった。

★美作アルプストレイルランの準備

「愛の村元気プロジェクト」のみなさんとともに、11月に行われたトレイルランイベントの準備をしました。



走路に邪魔な枝切、石除け。目印となるテープ付けや看板打ち込み。コース確認や給水所設営など、一連の作業を自身のアウトドア経験を生かしてお手伝いをさせていただきました。



★みまチャンネル 本の紹介

みまチャンネルの本コーナーにて、月に一度おすすめ本の紹介をさせていただきました。(全4回)
紹介した本のポスターも描き、図書館や支所で本とともに展示しました。



はじめてのキャンプ
林明子 著



大どろぼうホッツェンプロッツ
プロイスラー 著



またあそぼうねポリゴン
タカシシコ 著



おとうさんとぼく
e. o. プラウエン 著



★おくのへや運営

11月より、東粟倉支所内にて協力隊拠点「おくのへや」をオープンしました。本や写真の展示、コーヒーやおやつの提供などを行い、地域の方や来てくれた方との交流の場として毎週月・水・金曜日に開けています。

★出張おくのへや

平日に「おくのへや」に来れない方のために、月に二回東栗倉図書館に赴き本の展示やコーヒーの提供をしています。

また、本やコーヒー以外のイベントも随時企画し行っています。

二月には「キャンプギア展示会」を行い、当日のパンフレットもZINEとして制作しました。



★東栗倉の伝統「茅」チラン製作

「後山茅文化を継ぐ実行委員会」に依頼され、チラシデザインを担当しました。

受け継がれてきた文化を守る

後山
日名
倉の
茅

●東栗倉で受け継がれてきた貴重な知恵と技術

岡山県真庭市・東栗倉地域では、古くから住民の生活とともに茅の文化がありました。茅は、茅葺き屋根をはじめ農業資材や生活用具として、東栗倉の生活に欠かせないものだったのです。この茅に係るすべての行程（育成、保存、使用など）が、この度「茅文化」としてユネスコ無形文化遺産に登録（※）されました。この背景は、東栗倉の長い歴史の中で受け継がれてきた貴重な知恵と技術です。茅の文化は、東栗倉だけでなく日本全体の農村風景の象徴であるとともに、日本が世界に誇る貴重な文化遺産なのです。

1 茅とは？

茅は、草にクサ、エガなどの属に属する植物で、その葉は耐水性が高くかつ耐腐食性として使用されてきました。これは、イネやムギなどの属（穀類）に比べて茅が油が多く含むためです。特にイネは、高温多湿な環境で栽培されていますが、茅は比較的乾燥した環境で育ちます。このように茅を採取するの場所が山場（山場）と呼ばれますが、この茅場を守り続けさせていくことも大切な文化の一つです。

2 茅刈り

東栗倉では、茅刈りを行う時期は、秋から冬にかけてです。茅刈りを行う際には、茅刈り機や鎌などの道具を使用します。茅刈り機は、茅を刈り取る際に、茅の根を傷つけないように設計されています。鎌は、茅を刈り取る際に、茅の根を傷つけないように設計されています。茅刈り機は、茅を刈り取る際に、茅の根を傷つけないように設計されています。鎌は、茅を刈り取る際に、茅の根を傷つけないように設計されています。

3 なぜ山焼きをする？

茅刈りに入る一歩手前「山焼き」という作業を行っています。これは、茅刈りをする前に行われる重要な作業です。山焼きは、茅刈りをする前に行われる重要な作業です。山焼きは、茅刈りをする前に行われる重要な作業です。山焼きは、茅刈りをする前に行われる重要な作業です。

4 茅の保管

水



自身も講習を受け、地域の方々に混じり茅刈りに参加しました。デザインをするだけでなく歴史や作業内容を学ぶことによって、知らなかった地域の伝統を知ることが出来ました。

以上、簡単ではありますが令和3年度の事業報告です。
ありがとうございました。

令和3年度事業報告書

地域おこし協力隊

島津 めい

<主な活動>

- ・グラフィックデザイン業務
- ・フリースペース「おくのへや」運営
- ・ハンドトリートメントとアロマ
- ・地域行事の参加
- ・その他の活動

<グラフィックデザイン業務について>

地域内イベントのチラシから始まり、湯郷地域おこし協力隊峯平隊員発案の「湯郷美彩オリジナルグッズマップ」の制作に携わり、みまチャンネルさんに取り上げてもらい、それを見てくださった滋慶学園の方から今後のイベントの際のチラシ作成に関する依頼を頂きました。そのほか地域外では、美作市内「わがまちあるこうウォーキングマップ」の制作や、英田地域のマップの依頼も頂いており、そちらは現在進行形で取材・制作しております。地域内では上記のイベント（愛の村元気プロジェクト主催イベント）に限らず、個人でのご依頼も承ることができました。さらに去年に引き続き、美作市老人クラブ連合会 東粟倉支部カレンダーも現在制作中です。



「湯郷美彩オリジナルグッズマップ」



「わがまちあるこうウォーキングマップ」





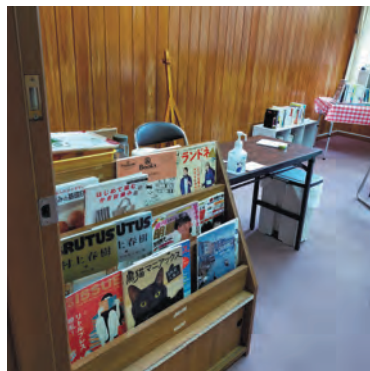
フリースペース「おくのへや」関連

<フリースペース「おくのへや」運営について>

東栗倉総合支所 1F の集落センター内の空室を利用し、フリースペース「おくのへや」を同じく協力隊の米山隊員と共に 11 月より運営開始しました。コーヒーと茶菓子の無料提供をしており、また私物の本を並べ小さな図書館のような空間としています。現在無料提供しているコーヒーなどを有料化し、その売り上げをそのまま「おくのへや」の消耗品に使えないか検討中です。利用してくださる方で有料である方が気を使わずにいられるとの声もあります。

支所内では週 3 日の運営と、月に 2 回東栗倉図書館 1F でも出張版「おくのへや」を運営しております。基本は支所内と同じく喫茶スペースのような形ですが、土日運営ができることもありイベントも企画していきたいと思えます。

2月に「米ちゃんのキャンプギア展示会」を開きました。告知が遅くなってしまったのと悪天候により来場者が少なかった為、今後のイベントではその反省点を活かして企画していきたいです。



フリースペース「おくのへや」

<ハンドトリートメントとアロマについて>

地域の方との交流に繋がればと思い、アロマを使ったハンドトリートメントの基礎と高齢者向けトリートメント技術を岡山市のスクールにて受講しました。「おくのへや」にて数名ですが地域の方に実際に体験して頂きました。5月にはアロマセラピー検定も受験予定です。

アロマを使ったワークショップを来年度は力を入れたいと思っています。アロマワックスバーなどのワークショップを計画中で、東粟倉図書館で開催したいと思っています。

<地域行事について>

愛の村元気プロジェクトのメンバーとしての活動が主になります。開催イベントのポスター作成にも携わりました。総検行山パノラマハイキングコースの事前整備や、トレイルランのエイドステーションスタッフとして参加しました。

また、そのほか地域活動の参加は中谷地域のサロンにてカルタと「私の地元富士宮について」皆さんの前でお話させて頂き、交流を図りました。



トレイルランエイドステーション



総検行山ハイキングコース事前整備

<その他の活動について>

・図書館とのコラボ

東粟倉図書館では私のオススメ本コーナーを作って頂いており、定期的にオススメ本の紹介POPを書かせて頂いてます。

また、5月には「豆本ワークショップ」を開催し、同イベントを作東図書館でも7月に行わせて頂きました。



豆本ワークショップの様子 51



広報みまさか

- ・生業の選択肢を増やす

現在資格取得やデザイン業務を行ったりなど生業に繋がるような活動を行っています。さらに1月からは英田地域「ヨリビト」で月1開催される「お仕事カフェ」というものに参加しています。20代～30代くらいの方で、実際に起業をされている方やパラレルワーカーの方など、一般的な会社員とは違う方々のお話を聞ける場を設けて頂いております。独立した美容師の方や、陶器作家の方などと直接やりとりをし、起業費用や田舎での働き方など具体的なお話を聞かせて頂いております。私自身、書店開業に関心があるので大変参考になっています。

令和3年度事業報告は以上となります。
最後までご高覧頂きありがとうございました。

地域おこし協力隊
島津めい

令和3年度 地域おこし協力隊事業報告書

(東栗倉隊員) 關竜太



活動について

- 令和3年度7月より東栗倉地区に着任、中谷にある河川公園の整備に着手

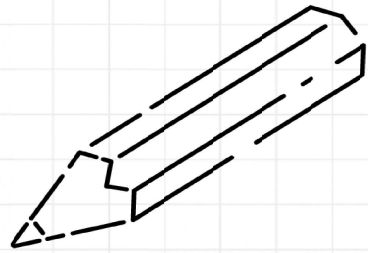
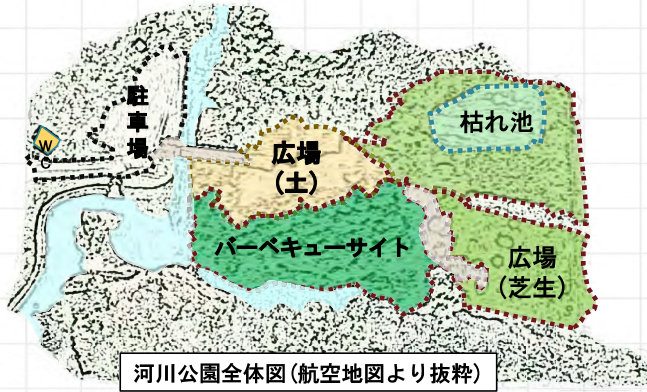
地域に元々あった憩いの場である公園を、今後また沢山の方に利用して頂けるような明るい公園に戻し賑わっていた以前のように綺麗で美しい公園になるように整備・管理をする事が目的。また、それにより東栗倉に立ち寄ってくれる県内外のお客様を増やし地域活性に貢献したい。

- 冬季積雪時や天候悪化により作業ができない期間

近隣地域(東栗倉・大原・以前の活動地域である粟井など)の住民のお手伝い依頼などの協力活動をしたり、ベルピール自然公園の整備手伝い、愛の村や元気グループの活動の手伝い、支所の手伝い依頼などを遂行。

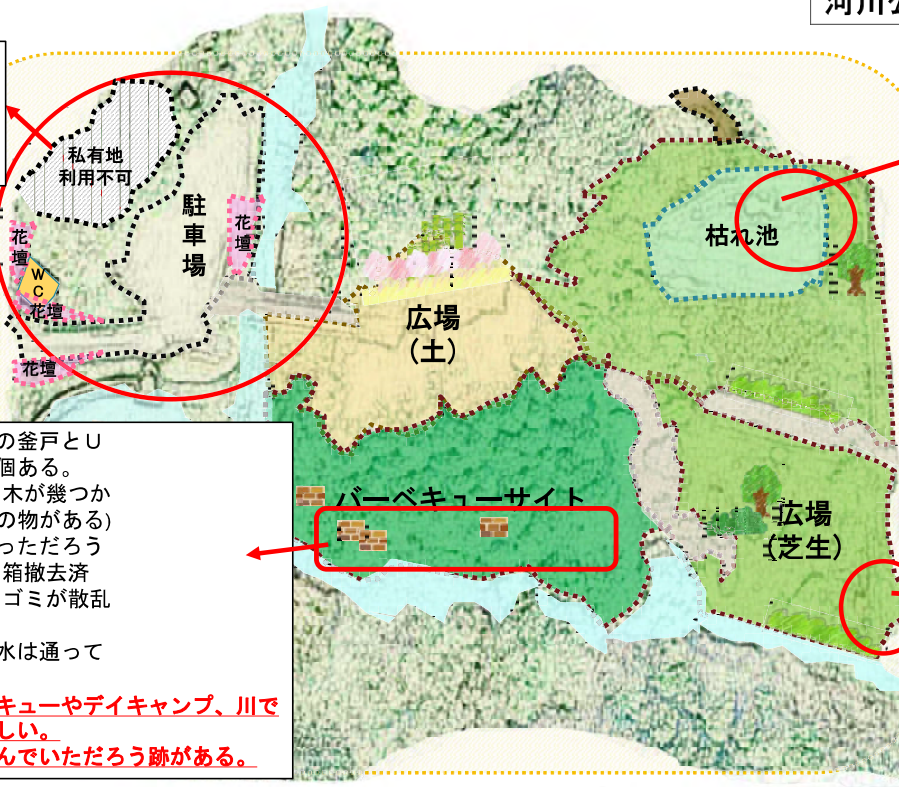


河川公園について



河川公園の現状状態のまとめ

・草ボーボー、土の塊状態。花がない。
※以前は花壇があったらしい。



・伐採した木々が散乱積みされ、水が枯れている。

・全体的に地面がゆるく凸凹、草が伸び過ぎていたり折れていたり病気の木等がある。
※以前は、花見ができたらしい。

・ブロックレンガの釜戸とU字工の釜戸が数個ある。(釜戸に接近した木が幾つかあり危険な状態の物がある)
 ・ゴミ置き場? だったろう場所があり(ゴミ箱撤去済みのため周辺にゴミが散乱している。
 ・水道があるが、水は通っていない。
※以前は、バーベキューやデイキャンプ、川で遊ぶ事ができたらしい。
※昆虫採集して遊んでいたであろう跡がある。

・掃除道具などが入った小さな倉庫がある。

※ 現在、相談をしながら作業を検討・進行している事柄です。

今後の構想・作業プラン

河川公園全体図(航空地図より抜粋)

- ・清掃
- ・垣根の剪定

- ・広場(土)エリアの草刈
- ・清掃
- ・地面のゆるい状態を改善する
- ・地面の凸凹を改善する
- ・桜の木の剪定？(病気になっている部分がある)
- ・花見ができるようにする
- ・垣根の剪定

- ・池の伐採残骸の撤去
- ・清掃
- ・水を張って池の復活(川から水を引く？方法は検討中)
- ・池周辺エリアの草刈(もともと芝生だったのなら芝生にする)
- ・地面のゆるい状態を改善する
- ・花見ができるようにする
- ・桜の木の剪定？(病気になっている部分がある)
- ・奥にある階段の清掃

- ・トイレ横花壇に花を植える(手始めにネモフィラを植えようと検討中)
- ・公園入り口付近の清掃(公園のイメージを明るくしたい)

- ・川周辺の清掃(夏に子供が遊びたくなる川を目指す)

- ・杉葉と枝の撤去清掃
- ・垣根の剪定
- ・清掃
- ・バーベキューサイトにある釜戸の整備撤去(相談しながらやる)

・デイキャンプができるように目指す

- ・広場(芝生)エリアの草刈
- ・清掃
- ・地面を平らにして子供が走り回れるようにする
- ・地面のゆるい状態を改善する
- ・垣根の剪定

現在整備のために準備している事

●花壇復活のための花の準備

①経費の問題もあり、花の種や苗が自力で手に入れる事ができないため近隣のお花が好きなご婦人よりネモフィラの苗を頂く。ご婦人に育て方を教えてもらい、土と気候、お花の状態を考慮しながら自宅にて植えるタイミングを見ながらポットの状態でお世話をし準備を進めています。



- ・30苗をポットの状態で見ました。
- ・霜や寒さに弱いため、霜よけネットを使うと良いと教えてもらおう。水も少なくてもいいそうだ。
- ・花が咲いたらひとまづトイレ横の花壇に植えてみようと思う。



- ・しばらく育てていると、霜と湿度の関係か水のやり過ぎか...苗が半分以上ダメになってしまった。
- ・植える花が無くなってしまったので、別に買ったヒマワリの種かサフラワの種を植えてみる事を検討し、サフラワを植えてみた。

●花壇や広場復活のための準備



②花壇の堺や広場の土壌の関係で歩道との境をつけるため近隣の方よりテストピース(高20センチ直径10センチ)83本と他、植木鉢3つを頂く。これらをどのように利用し、河川公園美化のために活かせるかを支所と相談しながら進めていこうと思います。

●広場の土壌整備に関する準備



③水はけが悪く地面の土部分が常時ゆるい状態となっている。そのため、碎石と真砂土の手配を支所と相談しながら進め、どの方法が一番良いかを検討し地面の改良をすすめています。現在はプレス機器が手配済みなので、地面の状態と天候が安定するのを待ち地面の整地をする予定です。

この活動を今後やりたい事

●河川公園の整備、活性化がうまくいった場合、公園の自然環境を活かした昆虫採集や川に生息している生き物に関する自然体験、星の観察などのレクリエーション企画。また、キャンプや野外活動に関する企画などを催し季節ごとに東粟倉の自然を堪能してもらえるようなイベントをしてみたいと考えています。

●ゆくゆくはデイキャンプも受け入れられるような以前の賑わっていた公園を取り戻し、地域活性を実現したい。また、卒業後の進路につなげたいと思います。

●重機などの必要な資格に伴い、野外活動系の資格や公園管理系の資格なども所得し又、ゆくゆくは狩猟免許なども所得し子供たちや一般の方向けの野生動物に関する山歩きツアーなどもして東粟倉の魅力を伝えられるようになりたいと模索しています。

